

岐病院糖尿病教室



佐藤勝先生、歌う♪・・いゆ語る!!

糖尿病教室

あなたのところへ



まめなかの

発行
西郷町城北町
隠岐病院長



近年の糖尿病人口の増加は著しく、それに伴う脳梗塞・心筋梗塞・神経障害・視力障害・腎不全・癌などの合併症により、日常生活に障害をうける方々が増加しています。

当院では、平成元年より院内において、糖尿病教室を開催しています。近年の生活習慣病といわれる糖尿病について、より多くの方々に広く、少し深く、この病気について知っていただくため、今年度の糖尿病教室は、島後四ヶ町村を巡回することを計画しました。

先日、その先陣をきり、都方村において開催しました。都方村健康福祉課の絶大なるご協力のもと、七月にオープンしたばかりの保健

患者一部負担金が 変わります!



— 9月1日より —

①健康保険の被保険者本人の一部負担割合の引上げ

1割 → 2割へ

②老人医療の一部負担金の改定 (外来受診時)

1カ月 1020円

↓

1回 500円

(ただし月4回までそれ以降は無料)

その他、薬剤費・入院費・入院中の食事代等が改定になりました。患者の皆様には、度重なる医療費改定により多大なるご迷惑をお掛けすると同時に、大変困惑のことと思っておりますが、何とぞご協力のほどお願い申し上げます。(ご不明な点は、医事課受付職員までお問い合わせ下さい)

— 医事課 —

医療福祉総合センターにおいて、約二時間の楽しい一時を過ごしました。都方診療所の佐藤先生に、糖尿病についてわかりやすいお話しをしていただき、また、当院の医師・薬剤師・検査技師・栄養士・看護婦・保健婦による相談コーナーを設けさせていただきました。都方村では六年ぶりの糖尿病教室だったのですが、参加された皆様いかがだったでしょうか?

私たち糖尿病教室スタッフは、病院から外へかけて、相談を受

けることの大切さをひしひしと感じ、自分たちの役割を再認識いたしました。

次回は十月七日に五箇村での開催を予定しています。糖尿病は、自覚症状の現れない病気です。定期的な健診をうけ、予防に努めるとともに、また、糖尿病の疑いを指摘されたら、必ず医療機関で糖尿病についての詳しい検査を受けて下さい。予防にも治療にも正しい知識をもっておく必要があります。

どうぞ、糖尿病教室を十分お役立てくださいます。

「一日看護体験」



「看護の日」って知っていますか？厚生省と日本看護協会（看護職能団体）では、平成三年より、ナイチンゲール生誕の日にちなんで毎年五月十二日を「看護の日」と制定し、看護の心を普及する記念事業を各地で行っています。

人は誰でも、必ず病气やケガと闘わなければならない時がやってきます。そんな時に大きな力で痛みや不安をやわらげてくれる役割を果たすのが「看護」です。

この主旨を受け、島根県看護協会では、県内の中学校・高校に向けて、看護学校や病院において実際に看護を体験することにより、看護への理解と関心を深めてもらうことを目的に「中学生・高校生の一曰看護学生」を募集しています。

当院でも、今年度から実習病院として参画し、夏休み期間中に、島内の中学・高校と島外の中学台

わけて五校、三十二名の実習を受け入れました。わずか半日の実習ではありましたが、生徒たちは、病気で不自由な人の足を洗ってあげたり、車椅子で散歩させてあげたり、生まれたばかりの赤ちゃんにこわごわ触ったりと、それぞれの体験を通して看護の心に触れ、今までに体験したことのない感動を覚えたようです。

ご承知のように、島内では看護職の人材が不足しています。この事業を通して、一人でも多くの人に「看護」を理解してもらい将来看護の道に進んでくださることを願っています。

この事業は毎年実施されます。詳しくは島根県看護協会又は、隠岐病院総婦長まで。

※以下、生徒の感想文を抜粋して掲載いたします。



おばあちゃん、お茶どうぞ！

【感想】

- ・思っていたより大変、でもやり甲斐がある
- ・人の命の大切さ、助け合いや人間関係の大切さを学ぶことができた
- ・福祉関係に進みたいと思っていたが、今回の体験をしてみても看護婦もいいかなと思った
- ・色々な事の手際の良さに感動！笑顔で声をかけている姿が印象的だった
- ・患者さんに優しくしている姿はとてもステキだと思った

- ・早く看護婦になって、苦しんでいる人達の手助けができるよう頑張りたい
- ・看護婦が少なくなっていると聞く、自分達がやらなければいけないことなので皆でしっかりと考えるべきだと思う。
- ・看護の大切さ、人とのふれあいの大切さを学んだ

□□□□□□□□□□□□□□□□

私は将来看護婦になろうと思っ
ていて、隠岐病院で、少しでも看護婦の仕事を経験してみようと思
って来ました。

私は以前から看護婦さんが何で
こんな事をするんだろうかと思っ
ていた事が、今回、「ああ！こう
いう意味があったのか」と、納得
しました。

車いすをpushしたときとか、患者
さんの手を洗うのにも悩んで、緊
張して、疲れました。

大変だったけど、悩んだ分ほど得
るものが大きかったと思うから、
色々な体験ができて良かったと思
いました。

私も早く看護婦になって、苦し
んでいる人達の手助けができるよ
うに、頑張りたいと思います。

(中学生 W)

隠岐病院活性化塾発足

— 隠岐病院と住民の架け橋的な存在となる住民グループが、
本年発足されましたのでご紹介いたします。 —

私達人間にとって一番大切なことは、何と言っても「健康」であることでもあります。しかし、近年高齢化率が進み、罹病率も高くなって来つつあります。病気になつた時、早く健康を回復したいと思ふのは当然のことです。

その時、私達住民の頼りは、診療所や隠岐病院であります。特に隠岐病院は隠岐圏域唯一の中核病院であり、かなり高度の設備がなされ、また、医療関係スタッフも一昔前と比べれば比較にならないほど充実しております。何よりも近年、職員の皆様が使命感に燃え、頑張っておられる様子が拝見され頼もしく感じております。しかし、果たしてこれで充分でしょうか。医療の向上は、病院の医師や職員の皆様だけがいくら頑張っても限界があると思います。私達住民の「生の声」に耳を傾け、その願いを叶える努力も大切であります。また、私達住民も病院に對

し建設的な意見具申も大切ではなからうかと思ひます。

そこで私達は、「隠岐病院活性化塾」という会をつくり、これに賛同していただける方々により、本年二月二十八日に結成式を行いました。その後、数回の会議などを行っております。会則の目的にもあるように、隠岐病院が信頼性の高い医療機関になるよう、利用者の立場から病院と住民の架け橋になれば…と考へており、微力ですが少しでもプラスになればと思っておりますので、皆様方の「生の声」をお聞かせいただければ有り難いと思ひます。よろしくお願ひ申しあげます。(各地区に委員の方がおられますので、ご活用いただきたいと思ひます。)

活性化塾幹事 川北 静雄

※会則および委員名簿は下記のとおりです。

【△会則】

一、名称
本会の名称は「隠岐病院活性化塾」とする。

二、目的

本会は、隠岐の中核病院である隠岐病院が島民にとって利用できる信頼性の高い医療機関になるため、利用者としての立場から種々の支援を行おうとするものである。

三、事業

隠岐病院と住民のパイプ役となるための活動をしていくため本会は下記の事業を行う。

- (一) 会員相互の研修・講演会の開催
- (二) 会員相互の情報交換や調査
- (三) 病院関係者に対する提言
- (四) 会員相互の親睦
- (五) その他隠岐病院の活性化に役立つ事業

四、会員

会員は、本会会則第二の目的及び第三の事業の趣旨に賛同する住民を持って会員とする。

五、役員

本会に下記の役員を置き、任期はそれぞれ二ヶ年とする。

- 会長(塾長) 一名
- 副会長 一名
- 幹事 一名

六、会費

会員は本会の運営のために必要に応じ会費を納入しなければならない。

七、施行

本会則は、平成九年二月二十八日より施行する。

委員名簿

- 西郷町飯田 安藤亀太郎
- 城北町 齋藤 捷文
- 港町 谷村 文男
- 港町 林 信子
- 加茂 橋本貴美子
- 岬町 青砥 宏雄
- 原田 齋藤 幸広
- 中村 戸田 栄一
- 元屋 佐々木雅秀
- 西村 川北 静雄
- 都万村都万 ★田中 淳雄
- 五箇村南方 ★高梨 郁子
- 郡 安部 和子
- 布施村布施 忌部 正孝
- 〃 長田 初枝
- (順不同) 升崎 広次
- ★印は会長)

笹の葉さくらさくら

当院エレベーター前のロビーに旧の七夕にあわせ、病院青年部の手によって八月四日から七日まで七夕が飾られました。

入院患者さん、外来患者さん、お見舞いに来られた方、職員、子供たち、たくさんの人達が、思いの願いを短冊に書き、笹にく

くりました。短冊の願い事を見てみれば…、

- ☆かいかいが、なおりますように
- ☆瀬戸川先生 アイラブユー！
- ☆せんそくが、なおりますように
- ☆快気祝いやろーぜ
- ☆今年こそ今夜こそシャラララー
- ☆赤ちゃんが、女の子になれますように

等々いろいろな願い事が書かれてありました。

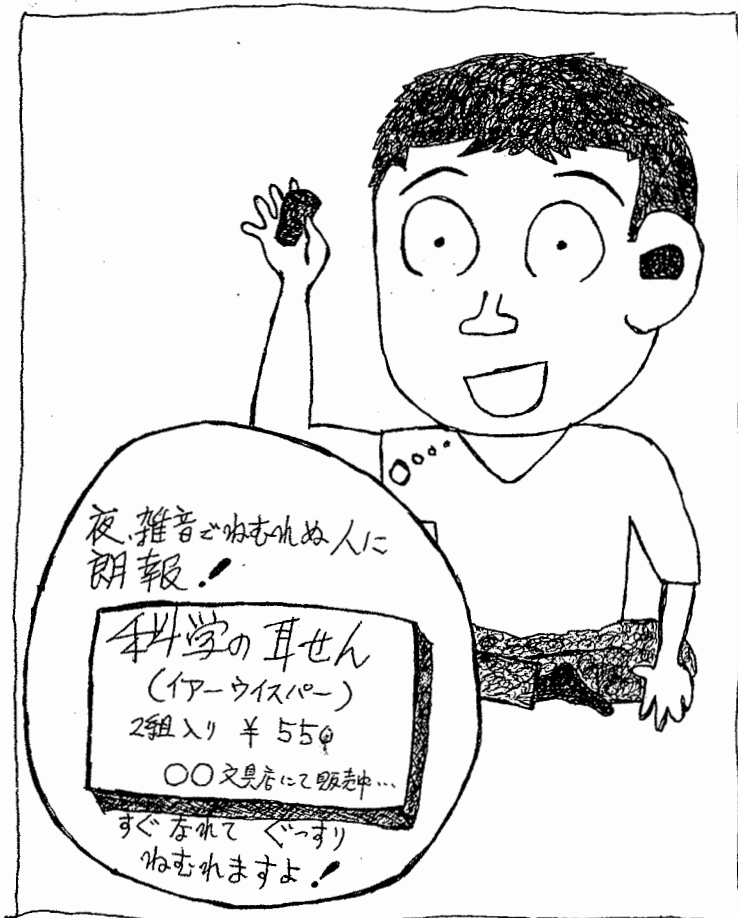
七夕を片付けるとき、青年部長が、一つの短冊を見つけました。「みんなの願いが、叶いますように…」と。



いきなり1コマ!

「いきなり1コマ!」コーナーに、入院中の患者さんより、編集部への挑戦!?!とも思える傑作マンガが届きました。この耳せんの効果を皆さんもお試しく下さい。

入院生活の中で一番困ったことの一つに、様々な雑音が気になって夜も眠れなりのことがあります。私はこの方法で解決しましたよ。



もし可能なら、売店で販売してみたいは... 耳せんがすこしでも体通にすぎないために...

退職

*吉岡 幸江(三階病棟)

異動



あとかき

朝、夕に涼しくなりましたが、夏バテはしてませんか？

国の財政改革が叫ばれているおり、医療制度も大きく改革が進むと思われます。国は、医療費抑制に力を入れてくることは目に見えています。高齢化の進むなか、老人医療費の自己負担(薬剤の一部負担、入院一部負担など)の増加、在宅医療の推進など医療を取り巻く環境は、よりいっそう厳しさをましています。

このような厳しい状況のなか、隠岐病院として、一職員として自覚を持ち、経費削減はもとより島民の皆様の信頼を得るよう努力していかなければ...と痛感しております。



S